

事後評価結果（平成17年度採択）

番号	研究課題名	研究代表者	評価
17-4	道路機能に基づく道路盛土の経済的な耐震強化・補強技術に関する研究開発	大阪大学大学院教授 常田 賢一	A
<p>< 研究の概要 ></p> <p>盛土部分の車道部分を最優先で保持し、かつ異種構造との境界部に縦断線形を急変させない耐震強化・補強の設計法と施工法開発を行う。</p> <p>< 主な研究成果 ></p> <ul style="list-style-type: none">・ 盛土のマクロ危険度評価法の提示・ 道路盛土の被災直後の通行機能を考慮した耐震性能基準（案）の提示・ 改良O型ニューマーク法、極限解析法による予測手法の適用性検証・ すべり破壊制御、縦断線形円滑化の設計概念の提示と適用性の検証 <p>< 事後評価結果 ></p> <p>当初設定した目標に対して一部未達成であったものの、得られた成果を23の知見に集約し、行政担当者などの理解を得やすくし、さらに適切なフォローアップの体制を整えていることなど研究目的は達成され、十分な研究成果があったと評価する。</p> <p>< 参考意見 ></p> <ul style="list-style-type: none">・ 全体として、多岐にわたる研究成果を出しており、従来顧みられてこなかった分野で初めての体系的な研究として、今後の研究の進展や行政的な結果の活用の両面において期待されるところが大きい。・ 更に今後は、残された課題である盛土の地震時の動的変形特性の把握とともに、フィールド実験による検証など、さらなる実用性の向上を目指した研究に取り組んでいただきたい。			